

認定第1号 令和5年度東郷町一般会計

歳入歳出決算認定について

討論一覧(討論順掲載)

反対討論 門原武志 議員

問題発覚後も前町長が予算を執行した

予算に計上された事業はおおむね評価でき、その執行もおおむね適正だと評価するものの、前町長のハラスメント問題が明らかになった後、加害者だと自ら認めながら、第三者委員会の報告書が出るまで町長の席に居座り続けた前町長が、問題発覚後も予算執行を続けてきたことから、井俣憲治前町長の不信任案に賛成した者として、残念ながら決算認定に反対する。ハラスメントに苦しみながら職務にあたり、更に問題が報道された後は、大量の苦情対応に追われた職員の負担はいかばかりだったか。ハラスメント問題による町への影響は残業時間などでは出しようがないとのことだが、責任を明らかにするためには、影響額が明らかにできるようにすべきだった。なお前町長が指示した第三者委員会設置は当然で、このための予備費執行は適切だ。個別の事業では、巡回バスの運行で利用者数が目標より多く伸びたが、なお伸び悩んでいる東コースなど、問題は明らか。対応を求める。

賛成討論 石原えりか 議員

町政運営は職員のみなさまの努力のおかげである

寺澤代表監査委員をはじめ、委員の皆さまには厳正に監査いただいたことを深く感謝申し上げます。賛成の最も大きな理由の一つとして、監査委員からの意見書にも記載がありました、全体を通して大きな混乱もなく町政を進めることができたのはこれまでも厳しい環境のもと町政運営に尽力してくださっていた職員のみなさまの努力のおかげである、東郷町役場職員のみなさまの様々な努力を大きく評価したいと考えています。令和5年度に執行されました事業につきましては、今後さらに改善等を検討することをお願いし、また、新体制に期待を込め、わたくしの賛成討論とさせていただきます。

賛成討論 高木佳子 議員

健全な町政運営は職員の努力あってこそ!!

令和5年度は、本町職員の皆さまにとって激務の一年であったのではないのでしょうか。私立こども園の不適切保育の問題解決、保育環境をよくするため奔走。5月にはコロナウイルス感染症が5類感染症となりその中で納涼祭りや町民レガッタ、文化産業まつりが揃って4年ぶりに開催。無事に行えたのはひとえに職員のご尽力の賜物であり、町民の喜びにも大いにつながったと思います。しかし、明るい話題の一方で、町長のハラスメント事案が発覚しました。庁舎内に混乱を招き職員への負担が増加するなかでも、大きな混乱を招くことなく町政を進めることができたのは、これまでも厳しい環境のもと町政運営に尽力してくださっていた職員の皆さまの努力のおかげであり、大いに評価すべきものと思います。今後、様々な課題等あるかと思いますが、新体制のもと町民のための健全な町政運営に努めていただけることに期待をこめて賛成討論と致します。

賛成討論 水川淳 議員

今後の見直しに期待し賛成

丁寧な説明と、前代未聞の事案に直面しながらも献身的に業務にあたってきた職員に敬意と感謝を申し上げる。国や県などの支援もなく、約2億円の借金によって進められた公園築造事業、子育て支援の域を超える子ども医療費支給事業の拡大や低学年への英語教育、公営学習塾と揶揄される中学生学習支援事業、年度末に戻入されたものの、コロナ基金のすべてをバラ撒いた金券配布事業、過去にも方針が二転三転しながらいこまい館内に拠点整備した上に3千万円の借金を上積みして和合保育園跡地へ整備された老人クラブ活動拠点など、疑問の多い5年度。しかし委員会では、前町長肝いり事業にも関わらず、効果もさることながら事業目的すら不明瞭感のある説明を聞き、本質的根本的な課題を職員と十分に共有できた。新町長のもと直ちに不要・過剰な事業が見直されるだろう心証が得られたため賛同にいたった。見直しは大変だが、刹那的喜びのためでなく、子や孫のための英断には理解が得られることを確信する。